問題3 次のデータ構造に関する各設問に答えよ。

<設問1> 次のリスト構造に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

リスト構造とは、データを記録するデータ部と次のデータの格納位置を示すポイン タ部で表すデータ構造である。

リスト構造には、一つの方向にだけポインタを連結し、データの先頭から末尾にた どることはできるが、逆方向にはたどれない単方向リストや、二つのポインタを付け ることにより、先頭からも末尾からもたどることができる双方向リストがある。

ここではリストの先頭の場所は ROOT に、末尾の場所は TAIL に格納されている。先頭のデータの前ポインタ部と末尾のデータの次ポインタ部に NULL が格納されている。

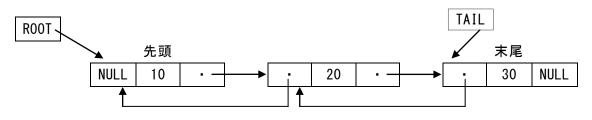


図1 双方向リストの構造

ここで、データの昇順に整列済みの双方向リストを2次元配列LISTで表現した。なお、各列には次の内容が格納されている。

1列目:このデータの直前のデータの位置。リストの先頭の要素ではNULL。

2列目:データ

3列目:このデータの直後のデータの位置。リストの末尾の要素ではNULL。

ROOT	4	TAIL	. 3	
	配列 LIST	1	2	3
	1	2	37	5
	2	6	33	1
	3	5	51	NULL
	4	NULL	12	6
	5	1	48	3
	6	4	25	2
	7			
		前ポインタ	データ	次ポインタ

図2 配列で表現をした双方向リスト

リストのデータの並びが昇順であることが常に成立するように、追加・削除をこの 2次元配列 LIST で行う。

新しいデータ 20 を 7 行目 LIST[7,2]に格納した場合, 2 次元配列 LIST 中の要素 LIST[(1) ,1]と LIST[(2) ,3]の値を共に (3) にし,LIST[7,1]と LIST[7,3]にも適切な値を格納する。

また、1行目のデータ 37 をリストから削除するには、LIST[**(4)** ,1] の値を 2 にし、LIST[**(5)** ,3] の値を 5 にすればよい。なお、この処理ではリストからは削除されるが、2 次元配列 LIST の 1 行目の数値はそのまま残される。

(1) ~ (5) の解答群

 ア. 1
 イ. 2
 ウ. 3
 エ. 4

 オ. 5
 カ. 6
 キ. 7
 ク. NULL

<設問2> 次のヒープに関する記述中の に入るべき適切な字句を解答群から選べ。

節の値はその節のどの子よりも小さい(または大きい) 2 分木をヒープと呼ぶ。なお、ヒープでは、葉は左詰めにし、子要素どうしの大小関係は問わない。ここで扱うヒープは、次の条件が常に成立するような構造になっている。

条件 (親の値) ≧ (子の全ての値)

図3にヒープの例を示す。

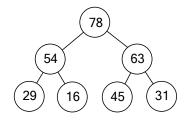


図3 ヒープの例

図3のヒープを1次元配列 HEAP で表現すると次のようになる。なお,未使用領域には-1が格納されている。

添字 i	1	2	3	4	5	6	7	8	9	•••
配列 HEAP	78	54	63	29	16	45	31	-1	-1	•••

配列 HEAP にデータを追加するには、次のようにする。なお、除算の商に小数点以下の値が発生した場合、小数点以下は切り捨てる。

- ① 配列 HEAP の未使用領域を見つけるため、HEAP[i]= (6) となるまで添字 i を1から順番に1ずつ加算する。
- ② 未使用領域が見つかったら、HEAP[i]に追加データを格納する。
- ③ HEAP[i/2] < HEAP[i] であれば、HEAP[i/2]と HEAP[i]を交換し、i/2 を新しい i
- ④ ③の処理を HEAP[i/2]≥HEAP[i]になるか i の値が (7) になるまで繰り返 す。

例えば、追加データとして 57 を与えられた場合、 (8) となる。

(6), (7) の解答群

ア. -1 イ. 1 ウ. i エ. 2*i

(8) の解答群

ア.	配列 HEAP	78	54	63	29	16	45	31	57	-1	•••
イ.	配列 HEAP	78	57	63	54	29	45	31	16	-1	
ウ.	配列 HEAP	78	57	63	54	16	45	31	29	-1	